



あまるべ
余部
ふるさとガイド



あまるペ ガイドマップ

Guide Map

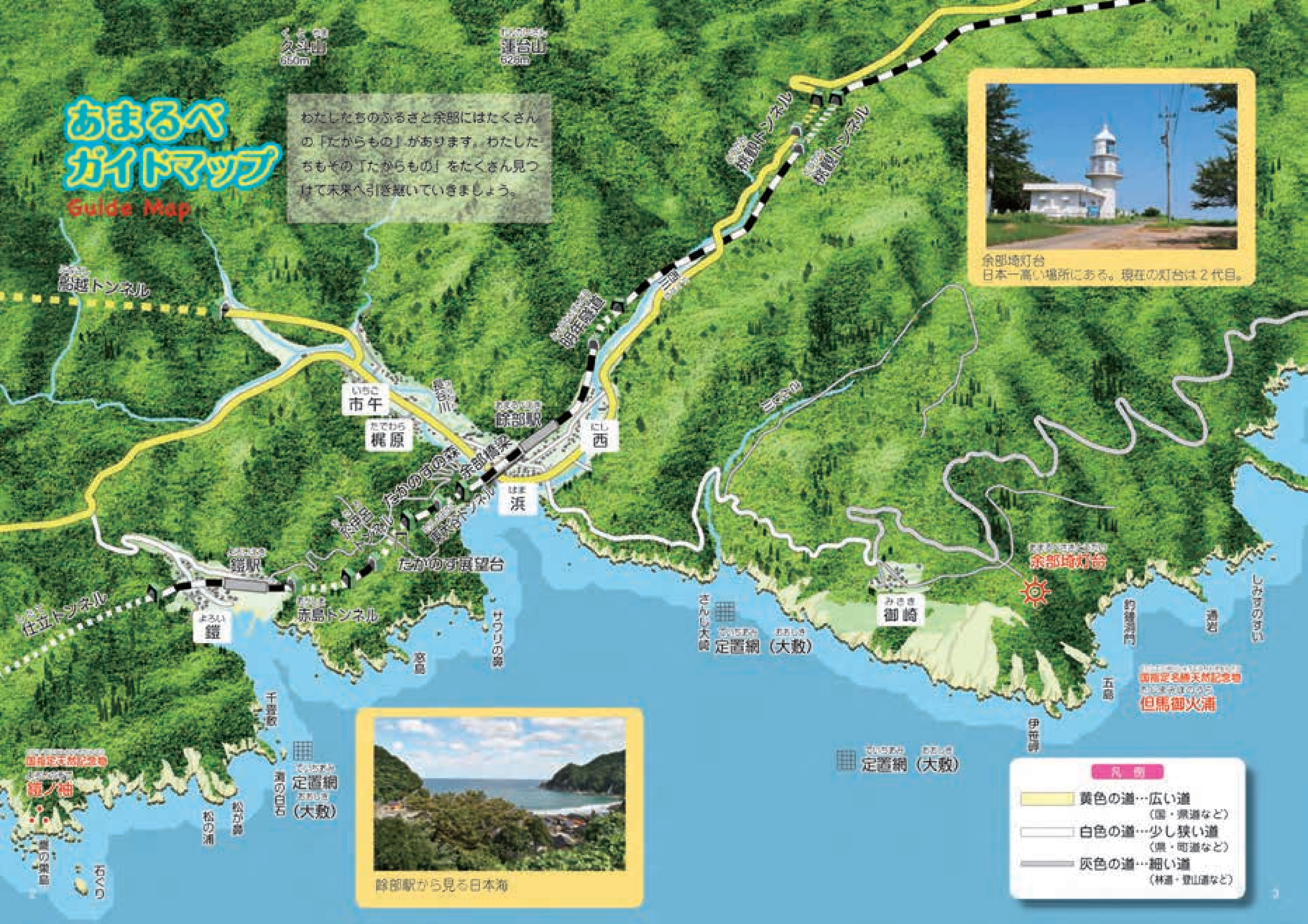
わたしたちのふるさと余部にはたくさんの「たからもの」があります。わたしたちもその「たからもの」をたくさん見つけて未来へ引き継いでいきましょう。



余部崎灯台
日本一高い場所にある。現在の灯台は2代目。



餘部駅から見る日本海



凡例

- 黄色の道…広い道
(国・県道など)
- 白色の道…少し狭い道
(市・町道など)
- 灰色の道…細い道
(林道・登山道など)

但馬御火浦

定置網 (大敷)

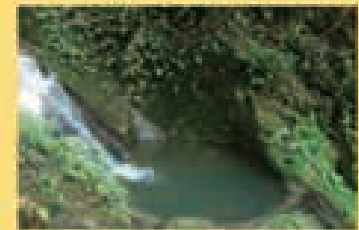
定置網 (大敷)

定置網 (大敷)

定置網 (大敷)



アセビ谷溪谷・龍穴群（町指定文化財）



不動尊

アセビ谷溪谷（龍穴群、カヅラの大木）
（栴の木、シャクナゲ）

船越トンネル

長谷川

日露戦争戦勝顕彰碑

尾谷のお地藏さん

大地蔵尊

従軍東出石額石碑

薬師如来像

お地藏様

八坂神社 卍

愛宕山

大日如来石碑

市午

温泉源

愛宕山

白仙寺

白山神社（スダジイの老木群）

観音堂（聖観音菩薩立像）

市午城址

梶原



お地藏さま（老人いこいの家）

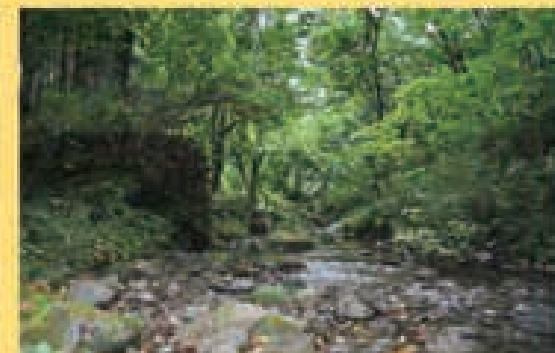
おまるへガイドマップ

Guide Map

浜・西



長福寺



発電所ダム跡地
左手にダムのコンクリート壁が残っています。



余部橋梁

余部小学校・幼稚園

戦没者慰霊碑 (忠魂碑)

余部地区公民館

道路元標

長福寺

お地藏さん

井美さん

余部浜海岸

はまびる顔群生地

余部浜製塩遺跡

愛宕神社

安養寺 (薬師堂)

八柱神社元碑

安養寺跡地

八柱神社

伊伎佐神社横遺跡

伊伎佐神社

不動尊
跡山館遺跡地

発電所ダム跡地

耕地整理碑

妙見宮

中風除去地藏

御園トンネル

おまるへガイドマップ

Guide Map

御崎



余部埼灯台から見た景色



俊龍大和尚の碑
案内板の横にあります。

近畿自然歩道

但馬御火浦漁火灯籠

美伊神社

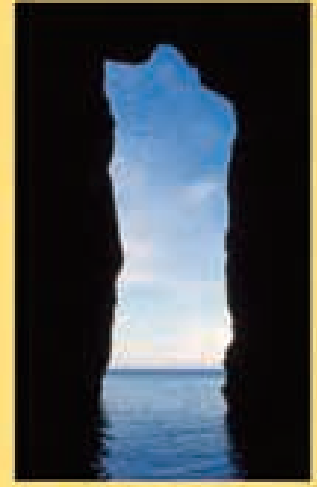
但馬御火浦漁火灯籠

日吉神社

平内神社 (百手の儀式)

御崎

「平家伝承の郷」案内板



釣鐘洞門から見た海

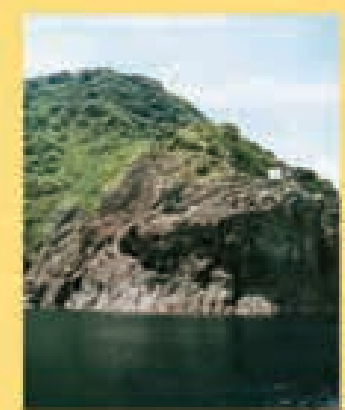
通岩

釣鐘洞門

余部埼灯台

国指定名勝天然記念物
但馬御火浦

五島



御崎石の石切り場跡

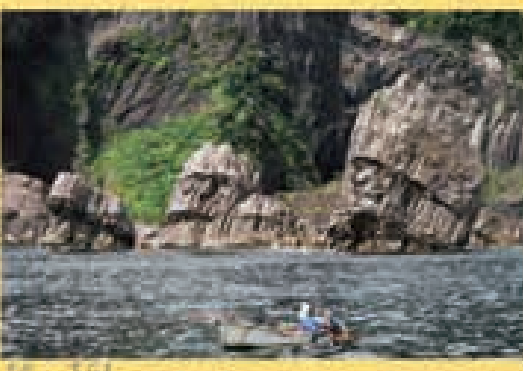
御崎



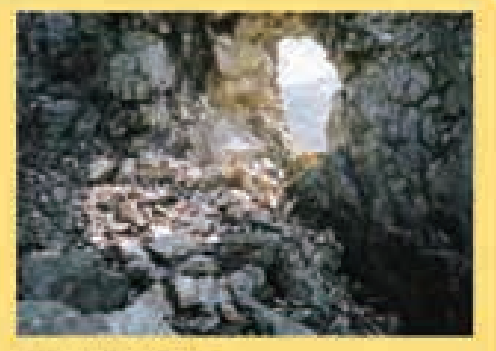
国指定天然記念物 錯ノ袖



大放神社社殿（町指定文化財）



磯の島



タツババの洞窟

あまるべの暮らし

～余部の年中行事～

余部には昔から人々がいろいろな思いを込めて行ってきた行事があります。行事にはそれぞれ意味があります。行事に参加してその思いに触れてみましょう。



どんど

月	日	主な行事
1	7	お日待ち(市午)、 産土講(浜)
	8	どんど(各地区) ※地区によってはどんどと言う
	14	お日待ち(西)
	16	念仏開け(浜・梶原・西)
	17	お日待ち、豊祭(御崎)
20	じゅつくり(西)	
	28	百手の儀式(御崎)
2	3	節分
	3	ひな祭り
4	7	弁天祭(浜)

どんど(とんど)【各地区】

1月8日の早朝、橋のもと・神社等で正月の飾り・半紙などを燃やし、神送りをします。ごくもちを火であぶり、わら灰を持ち帰り、家の周りに厄除け・清めとしてまきます。

百手の儀式【御崎】

毎年1月28日、午後4時頃から平内神社境内で行われます。区民(男)全員が参加、3人の若者が101本の竹で作った弓矢を源氏の「目」に見立てた的に放ちます。平家伝承と豊作を祈願する行事と考えられています。



百手の儀式

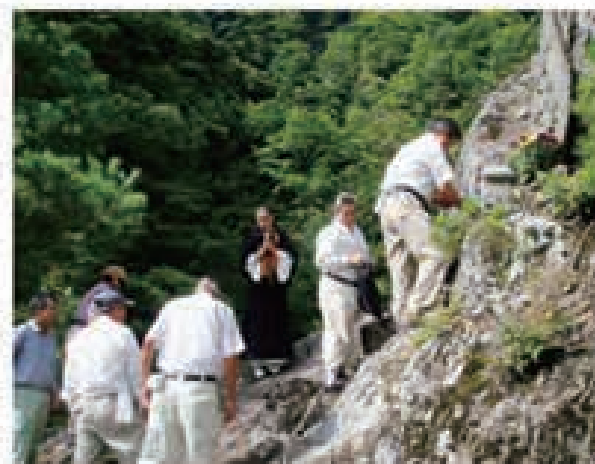
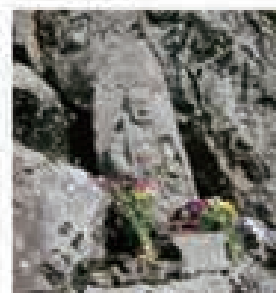
夏祭り

【市午・梶原・浜・西・御崎】

7月15日に近い日曜日(御崎地区は17-18日)各神社で行われます。子供のたる神輿、青年による棒神輿の巡行などが行われます。

不動尊祭【市午】

アセビ谷不動尊で8月28日に近い土曜日に行います。平成に入ってから、「村おこし」事業として区・地区をあげて開催しています。



不動尊祭

月	日	主な行事
5	5	端午の節句、鯉のぼり(御) 最終日曜 しろめて運動会(西)
	6	第1日曜 しろめて運動会(浜)
7	15頃	夏祭り(市午・梶原・浜・西) ※15日に近い日曜日に開催
	17-18	夏祭り(御崎)
8	14頃	盆踊り ※市午 17日、梶原 16日、 浜 14・23日、西 15日、 御崎 14～16日、浜 15日、 それぞれ開催
	24 月末	大般若(西) 不動尊祭り(市午) ※28日に近い土曜日に開催
9	7	妙見宮祭礼(西)
10	1	秋祭り(御崎)
	5	麒麟獅子舞(御)

麒麟獅子舞【御】

笛や太鼓の囃子にのり、2人1組の獅子がゆったりと舞います。神の身代わりとしての舞とされています。特徴は、獅子の頭部に角が1本、耳が立っており、顔が長大です。10月5日、十二社神社祭礼に奉納します。日本最東端の伝承地が鶴であると言われていいます。(町指定文化財)



麒麟獅子舞

余部の歴史

～余部に残る祖先の暮らし～

私たちの住む余部は太古から人々が暮らしてきました。昔の人達が暮らしたあとを訪ねてみましょう。

御崎の平家伝承

御崎には1185年の壇ノ浦の合戦に敗れた平家の門閥宰相教盛以下7人がやってきたという伝承が残っています。

壇ノ浦で敗れた一行は最初は隠岐国(現在の島根県の隠岐諸島)に向いましたが嵐に見舞われたどり着くことはできませんでした。日本海側を転々としながら漂流して御崎沖にさしかかった時、一筋の煙が見えたので上陸すると一人のお坊さんがいました。そこで一行は小麦の蒸し物をごちそうになり、この地に住むようになったのが御崎の始まりだとされています。

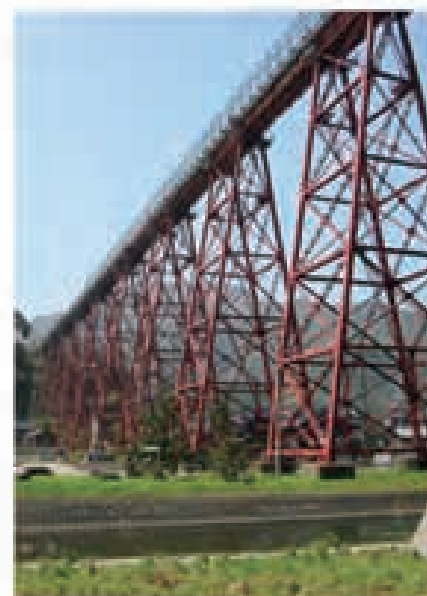
毎年1月28日に平内神社の境内で行われる「百手の儀式」は平家再興の願いを込め、源氏に見立てた的には101本の矢を射る新年の武芸始めの儀式として代々受け継がれてきた伝統行事です。

余部と鉄道

余部地区は明治45年3月1日香住・浜坂間の山陰線の開通と共に大きな変貌を遂げました。余部地区には山陰本線最長の1991メートルの桃観トンネル(建設当時は1840メートル)、当時東洋一と謳われた余部鉄橋など2箇所の難工事があり、この工事完了をもって山陰線が全線開通しました。これらの建設を担当、指揮した技師たちは大学を卒業して間もない20歳代の青年がほとんどだったといわれています。現在のように交通手段が整っていない当時、自ら測量機材を背負い余部の野山を駆け巡って山陰線を敷設した当時の人々の熱い思いを感じずにはられません。



平家伝承



余部鉄橋

時代	主な出来事、遺跡
古代	浜通跡(浜)
中世	市午城築城(市午)、十二社神社境内大放神社建立(鑑、町指定文化財)
近世	1603 徳川家康が江戸幕府を開く 出石藩領となる 1852 御崎の平家伝承を久美浜代官所に提出 1865 三尾村(現新温泉町)との海の境界争いが起こる
近代	1867 明治維新 1872以前 長福寺(浜)、白仙寺(市午)、安養寺(西)、薬師堂(御崎・鑑)が学習の場であった 1875 公立余部小学校開校。浜・長福寺の一部に仮校舎建設(生徒数53名) 1882 余部浜に新校舎完成。仮校舎から新校舎に移り授業を開始する 1912 余部鉄橋が完成。3月1日山陰本線が全線開通する 1914 鑑分教場を設置 1915 御崎分教場を設置 1941 国民学校令施行により、余部国民学校と改称。太平洋戦争開戦 1945 太平洋戦争終戦 1947 余部村立余部小学校と改称。新制中学の発足に伴い余部分校が開校 1949 御崎分校改築落成式を行う 1951 余部埼灯台建設 1952 余部村立余部中学校となり併設 1955 余部村が香住町と合併。余部診療所が開設 1958 鑑地区が香住小学校区に編入。余部小学校鑑分校が廃止 1959 余部駅(無人駅)誕生。御崎防衛道路が完成 余部分校が香住第一中学校に統合される 1963 三田トンネルが完成し香住地区と道路でつながる 1970 桃観トンネルが完成。香住・浜坂間が20キロに短縮される 1981 余部診療所廃止。余部・香住駅間でバスが運行開始 1986 余部鉄橋から回送中の列車が転落し、6人が死亡、6人が重軽傷を負う 1988 林道 三尾・御崎線 全線開通 2005 香住町が村岡町・美方町と合併して香美町となる 2007 新余部橋梁着工 2010 コンクリート製の新余部橋梁が完成し、8月12日より供用を開始する 山陰海岸の世界ジオパークネットワーク加盟が決定する 地域高規格道路「余部道路」開通



学校名

学年 年 名前



— 2010年11月発行 —

関関白余部ふるさと教育協議会

発行：香美町教育委員会、学校支援地域本部香美町実行委員会、香美町ふるさと教育推進プロジェクト委員会